

**工事をされる方へ**

工事を始める前に、この「工事説明書」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。工事完了後、この「工事説明書」は「取扱説明書」と一緒に必ずお客様にお渡しください。

**警告**

**専門業者** 工事や移動は、それぞれ専門業者が行う  
施工不備があると感電・漏電や火災、事故などのおそれがあります。

**水場使用禁止** 浴室など湿気が多い場所に設置しない  
浴室等、湿度が高く水がかかる場所には設置しないでください。  
火災や感電のおそれがあります。

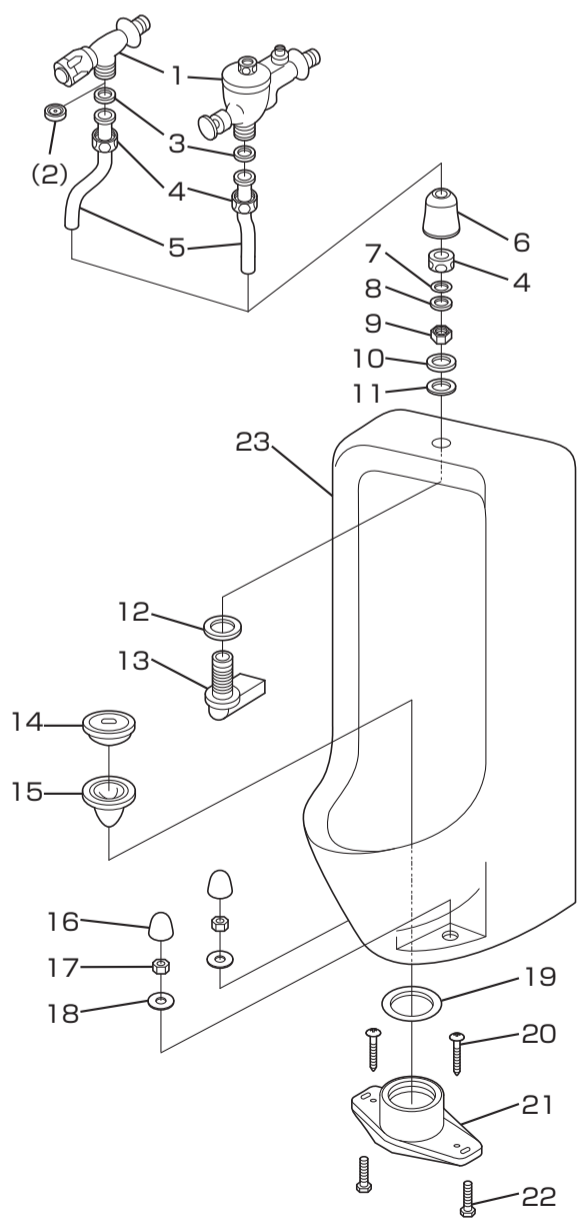
**注意**

**必ず便槽に接続すること**  
このトイレは必ず便槽に接続してください。  
また、便槽の要領は500リットル以上のものをお使いください。  
※4人家族を標準とした場合、500リットル未満だと汲み取り周期が1カ月未満になることがあります。

**凍結予防** 凍結予防を必ず行う  
凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行ってください。

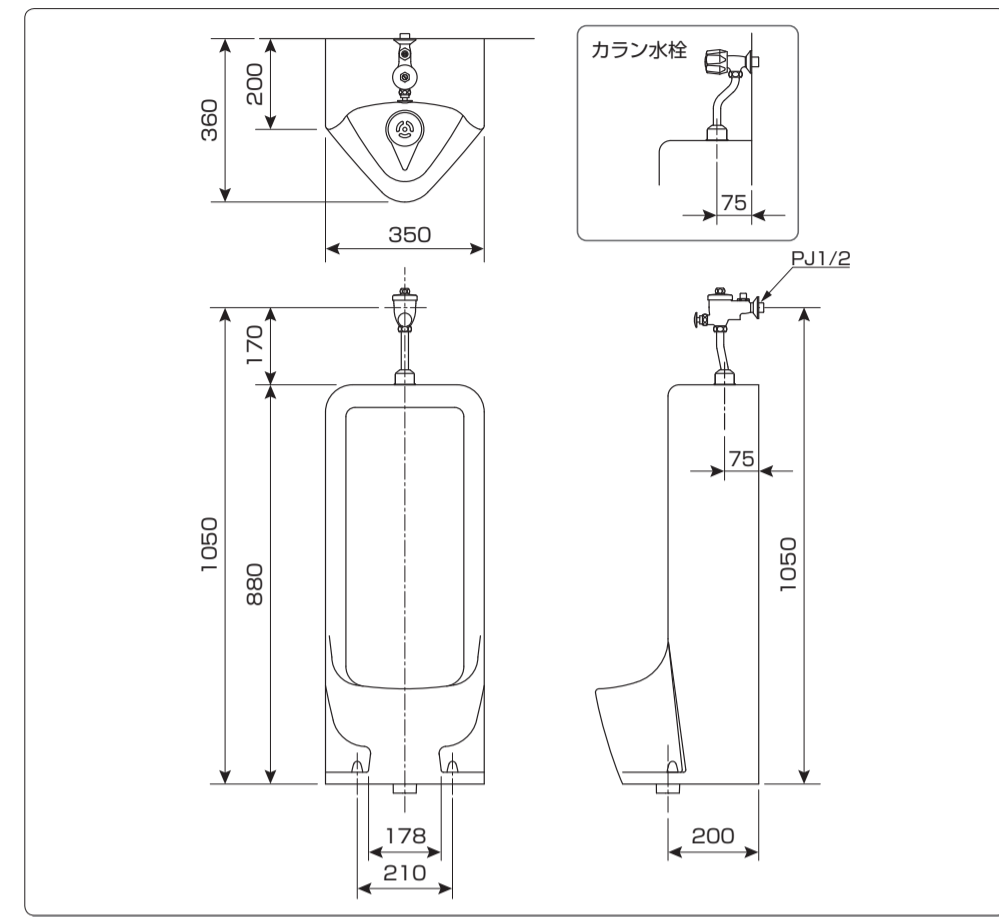
**1 開梱**

■施工する前に梱包を開いて、次の部品があることを確認してください。



No	部品名	数量
1	給水器具	1
(2)	コマ (ATU-319)	1
3	パッキン	1
4	袋ナット	2
5	洗浄管	1
6	化粧ワンプザ	1
7	スリップワッシャー	1
8	ゴムパッキン	1
9	六角ナット (大)	1
10	スリップワッシャー (大)	1
11	ゴムパッキン (大)	1
12	ゴムパッキン (大) パッキンリブ付	1
13	ノズル	1
14	目皿	1
15	パンタロン	1
16	化粧キャップ	2
17	六角ナット	2
18	ワッシャー	2
19	Pシール	1
20	木ねじ	2
21	床フランジ	1
22	六角ボルト	1
23	小便器	1

**2 寸法図**



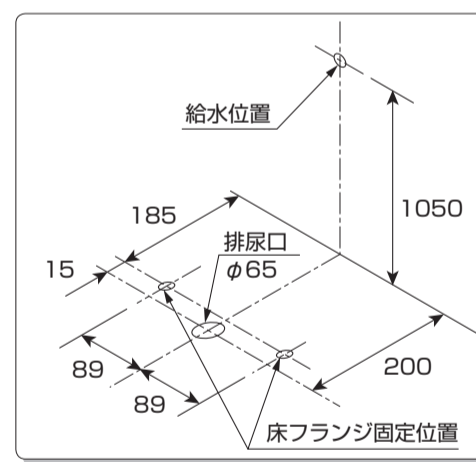
**3 施工手順**

**警告**

**専門業者** 工事や移動は、それぞれ専門業者が行ってください  
施工不備があると感電・漏電や火災、事故などのおそれがあります。

**【1】便器据え付け位置**

- 標準施工図を基準にして、便器の据え付け位置を決めてください。
- 排水管を右図の寸法位置に床面より立ち上げてください。
- 給水配管を壁面より取り出してください。

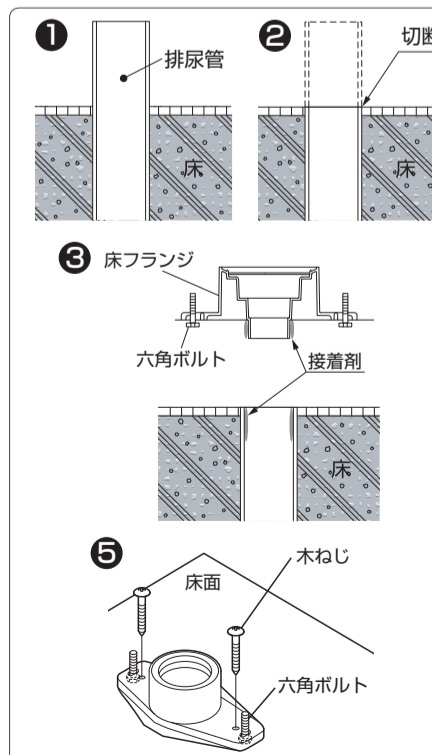


**【2】排水管の設置**

■床フランジは3種類のパイプと接続できます。

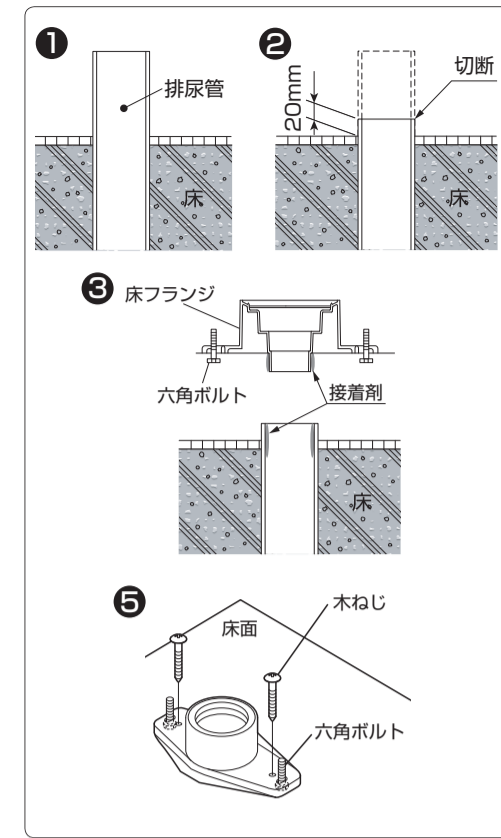
**a VP-50・小便配管セットの場合**

- 床下より排水管を立ち上げ、しっかりと固定できるように床を仕上げます
- 排水管を床面で切断します。
- 床フランジ接合部と排水管の内部に接着剤（塩ビ系接着剤）を塗ります。  
※このとき、床フランジの向きに注意してください。  
※床フランジは、前後非対象です。床フランジ上に壁側・前側と彫刻してあります。接着する前に方向を確認してください。
- 床フランジの下から六角ボルトを通します。
- 床フランジの接合部を排水管に差し込みます。
- 床フランジを木ねじで床に固定します。



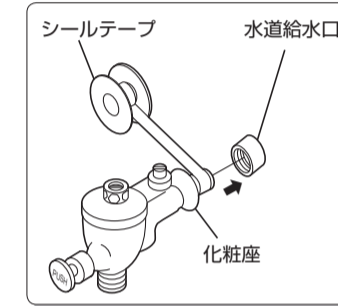
**b VU-50の場合**

- 床下より排水管を立ち上げ、しっかりと固定できるように床を仕上げます。
- 排水管を床面より20mmほど上で切断します。  
※VU-50の場合は20mm以上立ち上げてください。  
VU-50を使用して配管する場合は、接着位置が異なります。
- 床フランジ接合部排水管の内部に接着剤（塩ビ系接着剤）を塗ります。  
※このとき、床フランジの向きに注意してください。  
※床フランジは、前後非対象です。床フランジ上に壁側・前側と彫刻してあります。接着する前に方向を確認してください。
- 床フランジの接合部を排水管に差し込みます。
- 床フランジを木ねじで床に固定します。



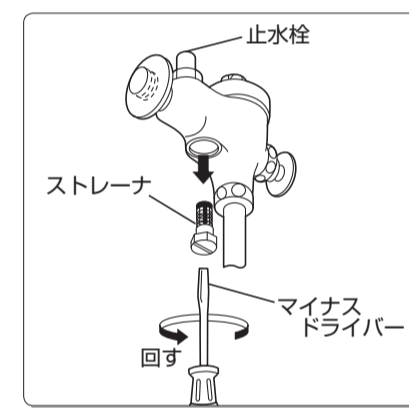
**【3】給水器具の取り付け**

- 化粧座をフラッシュバルブ（またはカラン）のねじの根元まで回し込みます。
- フラッシュバルブ（またはカラン）のねじにシールテープを巻き、給水配管にねじ込みます。  
※緩みのないようにしっかりとねじ込んでください。
- 化粧座を壁側に戻します。



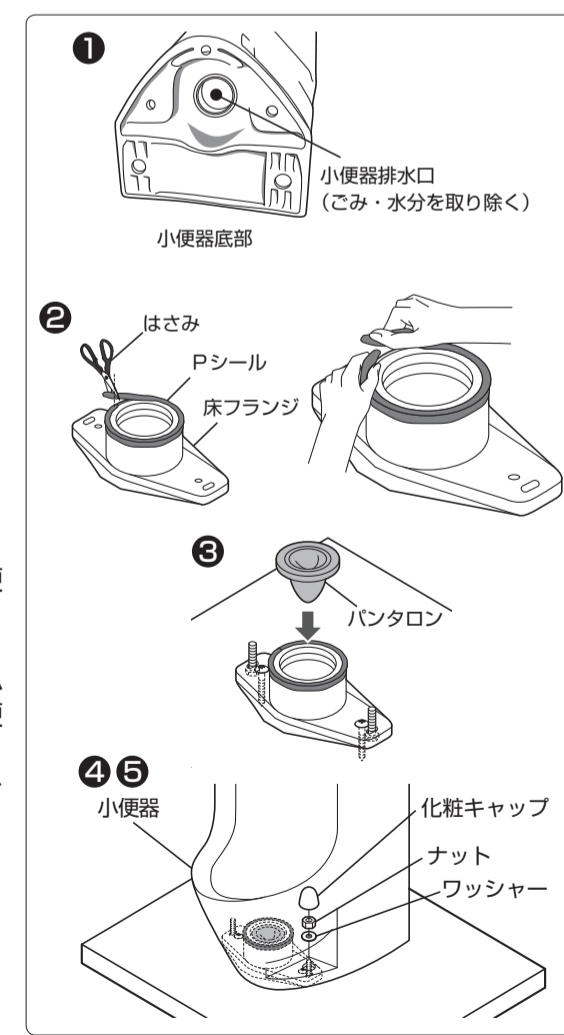
**【4】ストレーナの掃除**

- 給水配管のゴミなどを取り除くために、バケツ1~2敗の水を流します。  
※多量の水を流しますので、バケツなどの受け皿を用意してください。
- 止水栓を閉めます。
- マイナスドライバーを回して、ストレーナを取り出します。
- ストレーナを水洗いし、ごみを取り除きます。
- ストレーナを元の位置に取り付け、止水栓を開けます。



**【5】便器の据え付け**

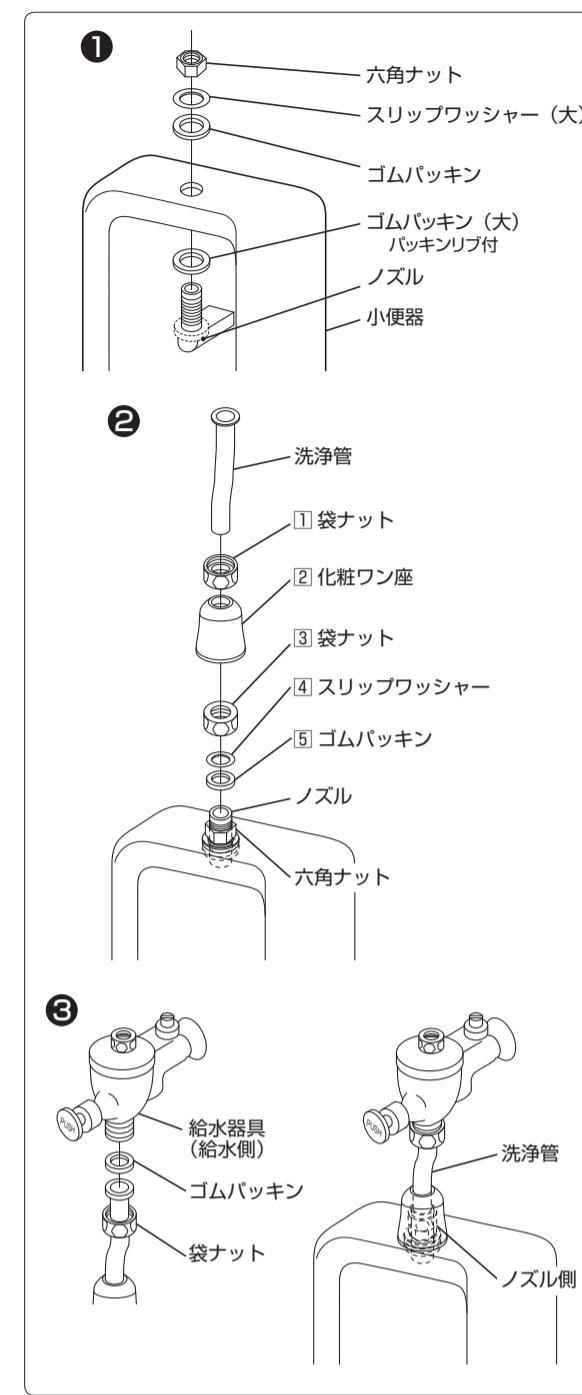
- 小便器排水口外周のごみや水分を取り除きます
- 床フランジの「壁側」彫刻部分にPシールの端面を合わせ、床フランジの淵部分に取り付けます。  
①取り付けたPシールの余り部分は、はさみなどでカットします。  
②カットした面を手で伸ばし、すき間をなく取り付けます。
- パンタロンを床フランジの上に乗せます
- 小便器を据え付け、ワッシャー・ナットで締め付け固定します。  
※ナットを強く締めすぎず、小便器を割らないように注意してください。  
※床面に水勾配がある場合は、小便器下部に当て木をして、小便器を水平にしてください。  
※小便器を固定した後、すき間を埋める前に排水管接続部から水漏れがないことを確認してください。
- 化粧キャップをねじ込み、固定します。



**お願い** ●小便器が動かないように取り付けてください。

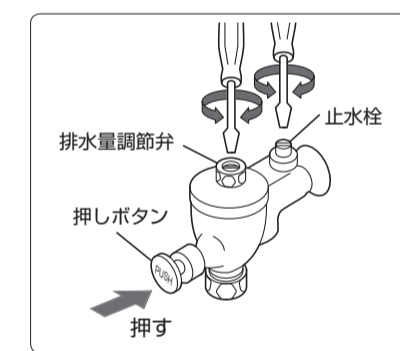
**【5】配管接続**

- ノズルを小便器下から差し込み、六角ナットで締めます。  
※ノズルが正しい方向であることを確認して取り付けてください。  
※六角ナットを強く締めすぎないでください。ノズルが破損するおそれがあります。
- 洗浄管の下側から  
①袋ナット  
②化粧ワンプザ  
③袋ナット  
④スリップワッシャー  
⑤ゴムパッキン  
の順に通し、洗浄管をノズルに差し込みます。  
※袋ナットの向きに注意して取り付けてください。  
※給水器具と洗浄管の高さを調整しますので、③袋ナットは固定しないでください。
- ②で組み立てた洗浄管を給水器具（給水側）に差し込み、袋ナットで固定し、給水栓と接続します。



**【6】フラッシュバルブの調節**

- 止水栓を閉めます。
- 排水量調節弁を全開し、2回転閉めます（右に回します）。
- 押しボタンを押しながら止水栓を開け、ノズルから出た水が内ボールに広がるように、止水栓を調節します。
- 排水量調節弁で水の量を調節します。



**4 施工後の点検項目**

■以下の手順で、給水・排水ができることを確認してください。  
また、通水試験を行い、水漏れがないことを確認してください。  
■工事が完了したら、お客様と一緒に必ず試運転をしてください。

**【1】通水試験**

■便器の排出口より約10リットルの水を流し、汚水管各部の接続箇所から水漏れがないことを確認してください。  
■フラッシュバルブの各部、配管各部の接続箇所から水漏れがないことを確認してください。

**【2】試運転**

■フラッシュバルブの押しボタンを押す、またはカラン水栓のハンドルを回して、洗浄・止水が正常に動作することを確認してください。  
■洗浄状態が正常であることを確認してください。

